

辺野古新基地をつくらせない沖縄県民の決起に呼応し、 全国で連帯の行動を（アピール）

2021年9月29日 安保破棄中央実行委員会

9月21日、「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」は、コロナ禍で休止していた抗議行動を再開し、コロナ禍でも継続できるあらたな県民行動「ブルーアクション」運動を開始することを発表しました。

安倍・菅政権はこれまで、沖縄県民のコロナ感染拡大の苦難を何ら顧みず、コロナ禍に乗じて、埋め立て工事を強行してきました。サンゴの保全といいながら、最も困難な夏場に移植を強行するという暴挙をおこなってきました。また、埋め立てに使用する土砂を、沖縄戦の犠牲者の遺骨が眠る南部から投入する計画を臆面もなく進めています。これらは、自然保護の立場からも、戦争犠牲者を冒瀆する見地からも絶対に許せません。

しかし、埋め立て工事は、全国の心ある人々の反対に阻まれ、計画の数%にとどまっています。アメリカの専門機関は「完成の可能性は低い」とする報告書を出しています。また、防衛省が軟弱地盤対策のために沖縄県に提出した「設計変更申請」も先行きは不透明さを増しています。

いま、辺野古新基地建設を断念に追い込む絶好のチャンスです。沖縄県民の「ブルーアクション」に呼応し、計画の断念をめざす連帯した行動を起こそうではありませんか。菅首相退陣後の国民の審判を仰ぐ総選挙もまぢかに迫っています。4野党は、市民連合と「衆議院総選挙における野党共通政策の提言」で合意し、「沖縄辺野古での新基地建設を中止する」ことを盛り込みました。総選挙で政権交代を実現し、「辺野古新基地計画を中止する政府」をつくるために、沖縄県民と連帯したたたかひの大きなうねりをつくりましょう。

「オール沖縄」は、当面する総選挙で全4区の必勝と、来年1月の名護市長選挙を見据えたたたかひに全力をあげています。

こうした沖縄のたたかひに呼応して、全国各地で、政府に対して辺野古新基地建設中止を求める街頭・駅頭宣伝や集会などの取り組みを急速に広げていきましょう。

全国のみなさんのご奮闘を心から呼びかけます。

以上

※ 「ブルーアクション」の具体的行動（オール沖縄会議の発表文より）

第1回 10月2日（土）11時からキャンプ・ゲート前

会場は、各市町村島ぐるみ会議等のスタンディング箇所とする